
2023年3月4日（土）～5日（日）2023 春季チャレンジレース
及びクラス分け決定後における
マンチェスター2023WPS 世界選手権大会 知的障がい日本代表選手の決定

標記について、下記のとおり決定いたしましたので、お知らせいたします。

選考の結果、日本代表選手は男子3名、女子2名の計5名とし選手氏名は以下のとおりです。

*肢体不自由・視覚障がい（S1～13クラス）選手の日本代表選手は、一般社団法人日本パラ水泳連盟が選考・発表いたします。

1、当連盟の定める派遣基準記録を突破したことにより、日本代表選手に決定した選手

【男子：3名】

選手名前	所属	該当種目
松田天空	NECGSC	100mバタフライ
村上舜也	NECGSC	100mバタフライ
山口尚秀	四国ガス	100m平泳ぎ、100mバタフライ、200m個人メドレー

*齋藤正樹（ミミSC）はシェフィールドにて国際クラス分け受検の結果、世界パラ水泳連盟が定める世界選手権大会の参加資格（競技クラスステイタス）を満たすことができないことが確定したため、保留選手から除外しました。

【女子：2名】

選手名前	所属	該当種目
木下あいら	個人（大阪府）	200m自由形、100mバタフライ、100m平泳ぎ、200m個人メドレー
芹澤美希香	宮前ドルフィン	100m平泳ぎ

2, 不服申立てについて

本選考結果について、不服申立てを行う場合は、2023年4月8日（土）まで（本発表より1週間以内）に登録団体責任者等を経由して当事者本人より理由を記載した書面と審査費用3万円を添えて、日本知的障害者水泳連盟会長宛に提出することで、不服申立てを行うことができます。

不服申立てがあった場合は、不服審査会を設定し審査を行います。不服審査会には、当事者本人、親権者、登録団体責任者が出席し、意見を述べることができます。不服申立てが認められた場合は、審査費用は返還されるものとします。

また、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構が仲裁する範囲の不服申立ては、スポーツ仲裁規則に従ってなされる仲裁により解決されるものとします。

この決定情報は、日本知的障害者水泳連盟ホームページ（<https://jsfpid.com>）に掲載いたします。